



産山村初冬の星空観察会

火星が2年2ヶ月ぶりに 地球に接近



天空が広がり、阿蘇、久住、祖母山を一望できる一覽三山の台から見える山々もやがて冠雪が見られ、厳しい冬が到来することでしょう。大変寒いですが、冬は星空が一番きれいに見える季節です。晴れたら肉眼で見える限界の6等星や、天の川まで見えるすばらしいうぶやまの星空を楽しみませんか。

今回のメインは、12月1日に2年2ヶ月ぶりに地球に接近する火星です。2018年の5,759万kmまで近づいた大接近に比べると、今回は8,145万kmなので中接近といえるでしょう。現在、火星はおうし座のアルデバランの近くに位置し、最接近時は-1.8等星で赤く輝いています。地球との距離が近づいていますので、表面の模様や白い極冠が見え始めました。

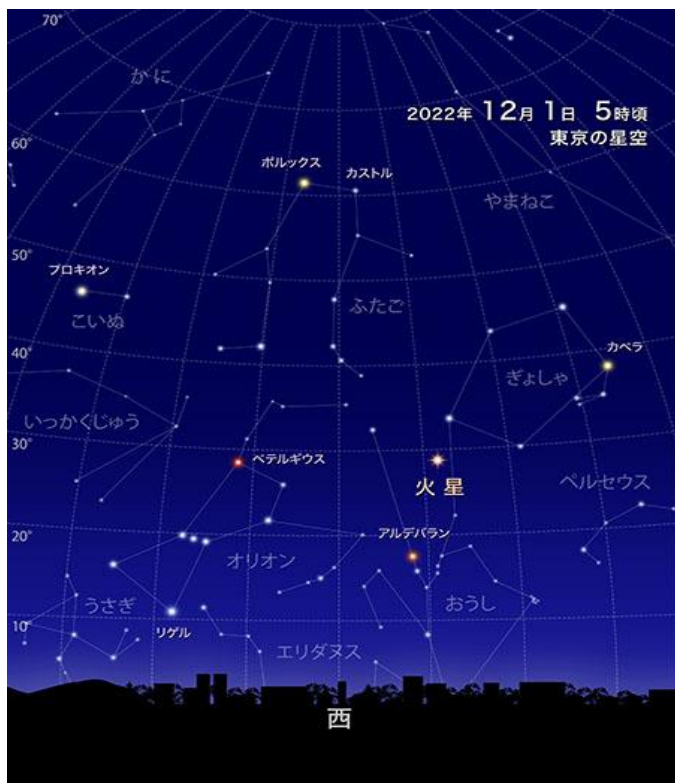
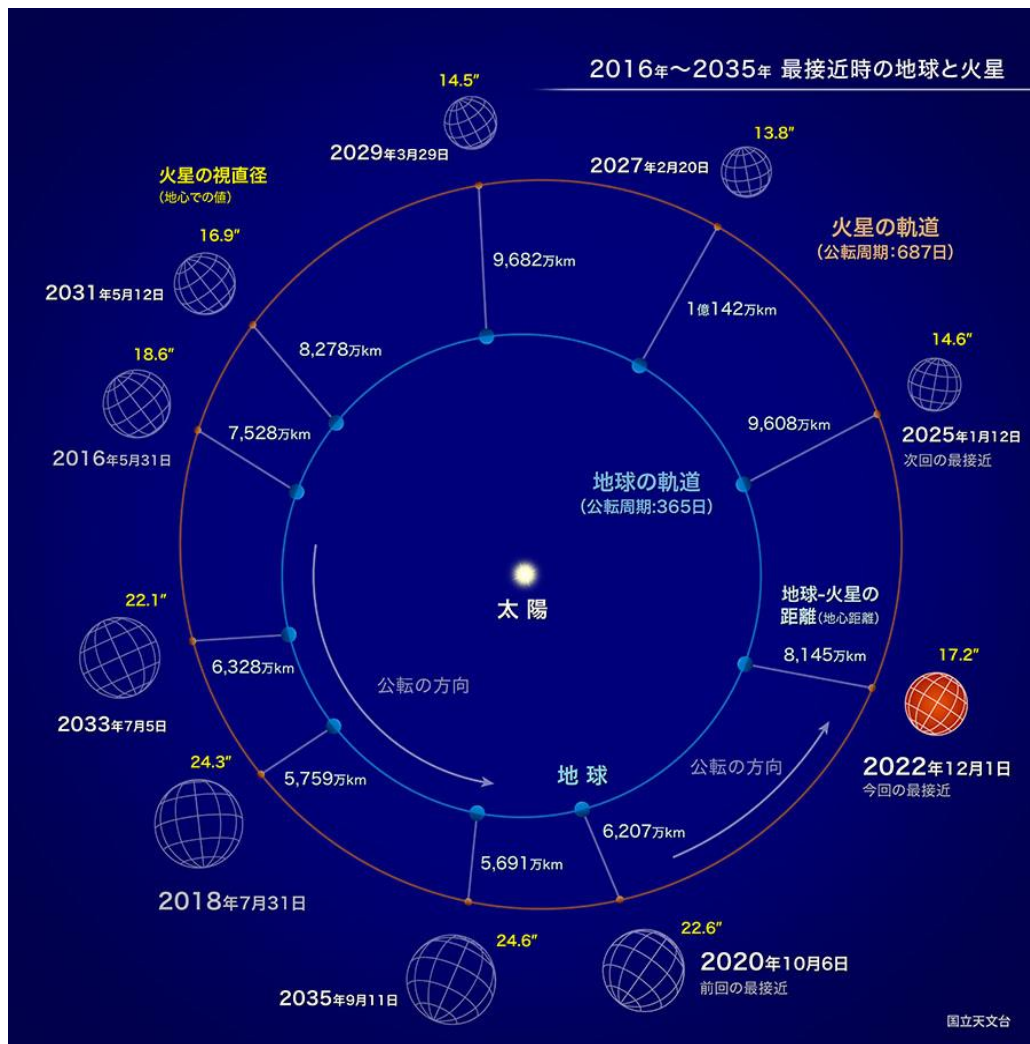
火星は、1.88年かけて太陽の周りを公転しています。地球はその内側の軌道を1年かけて公転しています。火星より地球の公転のスピードが速いので、見かけ上火星を追い越したようになり、地球から火星を見ると火星が天球上をバックしているように見えます。これを「逆行」といいますが、火星は10月30日から1月13日まで逆行を続け、13日が天球上で停止する「留」となり、その後「順行」という西から東への通常の移動になります。逆行中の12月1日に最接近、18日に「衝」（太陽-地球-火星と並び、夕刻、東から昇り、真夜中南中し、明け方西に沈む）となり、火星が一番見やすい時期となります。

天文台の大型望遠鏡で、火星の表面の模様や、二酸化炭素が凍ったドライアイスの白い極冠を見てみませんか。観察会では外気温は0℃ほどになります。天文台のドームは冷たい北風はしのげますが、天文台内部は観測機器保護のために暖房はしませんので、防寒対策を十分にとってお越しください。

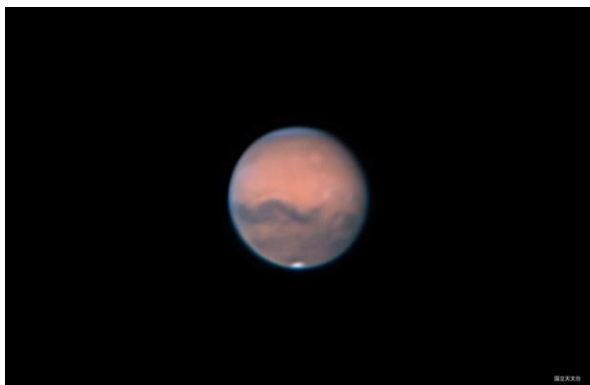
期 日：	令和4年12月1日（木）
場 所：	うぶやま天文台 （熊本県阿蘇郡産山村大字大利585 ファームビレッジ産山内）
時 間：	午後6時00分～午後10時00分
観察対象：	次ページに掲載 （火星がドームの縁より昇って見やすくなるのは7時以降です）
持 参 物：	防寒着 星座早見盤（一般参加者で持ってない方には当日配布します）
料 金：	村民の方：無料 村外の方：高校生以上300円 小中学生200円 未就学児無料

※密を避ける観点から、予約状況によってはお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。
天候不良などで実施できない場合は延期します。その場合は、再度お知らせ端末にて連絡します。
上記につきまして産山村外の方は、産山村教育委員会(0967-25-2214)までご連絡下さい。

火星の接近について



今回の観察対象



火星（2022.10.11 国立天文台）



アンドロメダ銀河（M31）



M45 プレアデス星団（スバル）



ペルセウス座二重星団（hとx）



オリオン大星雲（M42）